

IBM

IBM新製品ニュース

発行日:2002年5月15日

POWER4搭載によりエンタープライズの領域へと進化した IBM @server iSeriesが、サーバー統合の世界を変える

日本アイ・ビー・エム株式会社は、
5月9日付けで次の発表をいたしました。

IBM @server iSeriesモデル890
IBM @server iSeriesモデル830/840
新プロセッサ機構
OS/400バージョン5リリース2
開発意向表明

AIXをiSeriesのLPAR区画上で稼動。
iSeries Linux用のDB2 UDBおよび
WebSphere Application Server

信頼性や管理の容易性に定評のあるiSeries™に、ついに『POWER4』
搭載モデルが登場しました。

iSeriesにとって第8世代目の64ビット・プロセッサであり、1.3GHzのパフォー
マンスを発揮するPower4を搭載した「IBM @server iSeriesモデル890」
は、最大32-WAYまで拡張が可能。従来の最大モデル840の1.85倍、まさ
にエンタープライズ・クラスのパフォーマンスを発揮します。また、エントリー
のモデル250からの拡張性は750倍と、ますますスケラブルになりました。
拡張性だけではなく、モデル830 4-WAY以上のプロセッサではCUoD
(Capacity Upgrade on Demand)が標準装備となり、お客様のe-business
の拡張に伴い、柔軟にプロセッサ・パワーの増強が可能です。

また、同時に発表された「OS/400®バージョン5リリース2」により、AIX
5L™実行環境(PASE)および64ビットLinuxをサポート。

更に、iSeriesの論理区画上でネイティブにAIXをサポートする開発意向表
明も同時に発表。

他に類を見ない多様な「統合」を実現します。

一方、サーバー統合には高い信頼性とセキュリティが必須です。

iSeriesでは、業界初のIBM EIM(Enterprise Identity Mapping)実装
によるセキュリティの向上、スイッチ・ディスク・クラスタリングによる可用性
の向上など、真のエンタープライズ・サーバーとしての機能を拡充。これは
Project eLiza™の実現にもつながるものです。

iSeriesはe-business時代の要求をスピーディーに取り込みながら、これか
らサーバー統合の概念を変え続けていきます。



IBM @server iSeries

製品の位置づけ



ハイライト

■ エンタープライズ・クラスの領域に進化したIBM @server iSeries

<POWER4搭載>最大32-WayのSMPを実現するモデル890登場
 モデル830 4-WAY以上のプロセッサでCUod(Capacity Upgrade on Demand)を標準装備
 大規模e-businessに適した性能と価格を有したプロセッサをモデル830/840に追加

■ 多種多様なサーバー統合を可能にするOS/400 V5R2

AIX 5L実行環境(PASE)および64ビットLinuxのサポート
 Windows®サーバー管理機能の拡張
 DB2 UDB™ for iSeriesの複数データベース・イメージ・サポート

■ Project eLizaの実現に向けて進化するiSeries

業界初のEIM(Enterprise Identity Mapping)実装
 スイッチ・ディスク・クラスタリングによる可用性の向上
 Linux用パーティションへの動的プロセッサ資源割り当て
 iSeriesナビゲーターの機能拡張

■ その他の機能拡張

ワイヤレスWebアプリケーションのサポート
 高パフォーマンスかつ高セキュリティのWebサーバー機能

■ 開発意向表明

AIXをiSeriesのLPAR区画上で稼動
 iSeries Linux用のDB2®およびWebSphere® Application Server

製品の概要

製品名

IBM @server iSeries モデル890

IBM @server iSeries モデル830/840 新プロセッサ機構

出荷開始予定時期

2002年8月

2002年6月

☒ <POWER4搭載>最大32-WayのSMPを実現するモデル890登場

iSeriesで初めてPOWER4を搭載した『モデル890』が登場しました。POWER4は世界最高速の64ビット・マイクロプロセッサ・テクノロジーです。

コンピューター市場では近年やっと64ビット・プロセッサへの流れが始まった中で、iSeriesにとって、POWER4はすでに第8世代目の64ビット・プロセッサとなります。POWER4はiSeriesに先立ちpSeries™で同様のものが採用されていますが、2001年のBest Micro Processor Awardを受賞した評価の高いプロセッサです。モデル890は1.3GHzのプロセッサ・スピードを有し、最大パフォーマンスは従来のモデル840の1.85倍に拡張されました。まさにエンタープライズ・クラスの処理能力を発揮します。24-Wayと32-Wayのプロセッサを選択でき、メモリーや入出力プロセッサも拡張されています。前提ソフトウェアは、本日同時に発表されたOS/400バージョン5リリース2(V5R2)です。

今回発表した製品の仕様は次のとおりです。

製品名		iSeriesモデル890			
型式		890			
プロセッサ機構		#2487	#2488	#0197	#0198
プロセッサ・タイプ		16 ~ 24-WAY	24 ~ 32-WAY	24-WAY	32-WAY
相対性能比 (CPW) ¹	プロセッサCPW ²	最小	20,000	29,300	29,300
		最大	29,300	37,400	
	対話型CPW ³	最小	120	120	0 ⁴
		最大	20,200	37,400	
主記憶容量 (GB) ⁵		8-192	16-256	8-192	16-256
磁気ディスク容量 (GB)		17.54-71,982			
通信回線数(最大)		480			
LANポート数(最大)		128			
平衡型ワークステーション制御機構数(最大)		180			
平衡型ワークステーション台数(最大)		7,200			
CD-ROM装置/内蔵磁気テープ機構数(最大)		48			
外付テープ装置数(最大)		48			
光ライブラリー・データ・サーバー数(最大)		48			
大きさ(mm)	システム装置本体	幅785×奥行1494×高さ2025			
	ベース入出力タワー	幅485×奥行1075×高さ910			
電源(V)		200V(本体は3相)			

- 1: 相対性能比はコマーシャル・プロセッシング・ワークロード(CPW)で評価します。CPWは、商用アプリケーション、特にジャーナリングおよびコミットメント制御とともに相当量のデータベース処理を行うベンチマークです。CPW値は、すべての環境で実現されるとは限りません。
- 2: 各プロセッサ機構の持つ最大のCPW値です。以前のプロセッサ機構のクライアント/サーバーCPWと相対性能比の比較に使用できます。プロセッサCPWは、CPWワークロードがメモリー容量や磁気ディスク数で制約されない状態で達成可能です。
- 3: 5250対話型で使用可能な最大のCPW値です。プロセッサ相対性能比(CPW)から対話型ジョブの使用応分のCPWを差し引いたCPWがクライアント・サーバーのジョブのために使用可能です。
- 4: 対話型の0 CPWはシステム管理の機能のみサポート可能です。
- 5: ここでの最小メモリーは、ほとんどのお客様では非現実的な構成です。パフォーマンスの低下をほとんど気にせずに済むくらい、ピーク時のCPU使用率が低い場合のみ、適用可能です。

☒ モデル830 4-WAY以上の全てのモデルでCUod(Capacity Upgrade on Demand)を標準装備

iSeries モデル830 4-WAY以上のプロセッサでCUodが標準になりました。

これにより、中規模のお客様も、お客様サイトで必要な時にプロセッサ・パワーを増強することができ、システムの柔軟な拡張が可能です。

☒ モデル830/840のe-business用新プロセッサ機構追加

モデル830/840に、e-businessに特化した新しいプロセッサ機構を追加しました。大規模e-businessを希望されるお客様は、より良い価格性能比でiSeriesをご利用いただけます。

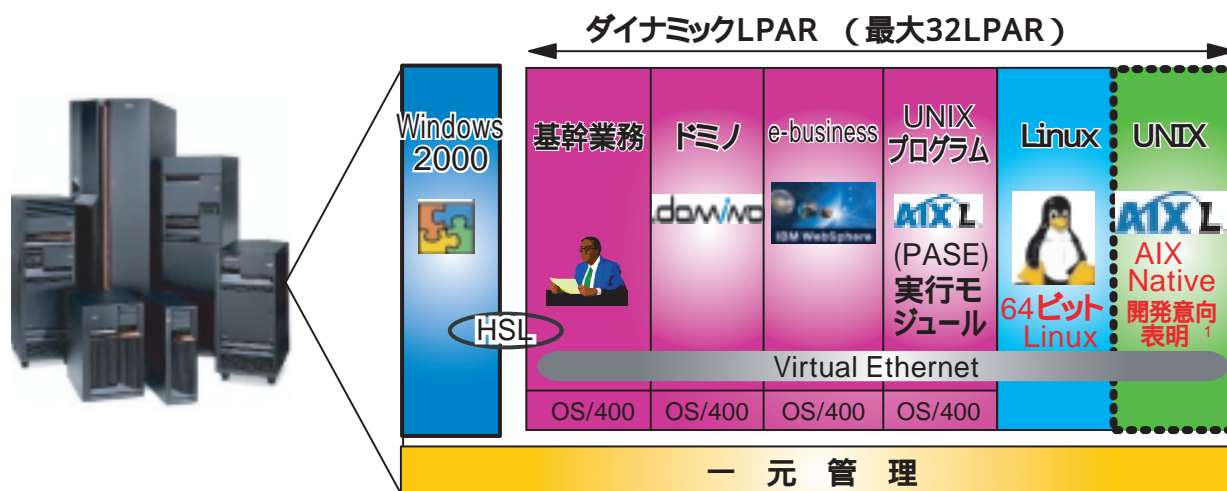
製品名

OS/400バージョン5リリース2(V5R2)

出荷開始予定時期

2002年8月

多種多様なサーバー統合を可能にするOS/400 V5R2



¹ 開発意向表明は、IBMの製品計画/意向に基づいており、製品化の最終決定はIBMの技術上、ビジネス上の判断に基づいて行われます。

AIX 5L実行環境 (PASE) および64ビットLinuxのサポート

iSeriesは、OS/400の他にもDomino、Linux、UNIX®、Java™、Windowsと、幅広いプラットフォームの統合を可能にします。今回、新たにAIX 5L実行環境 (PASE) や64ビットLinuxをサポートし、ますますその統合の幅が広がりました。

Windowsサーバー管理機能の拡張

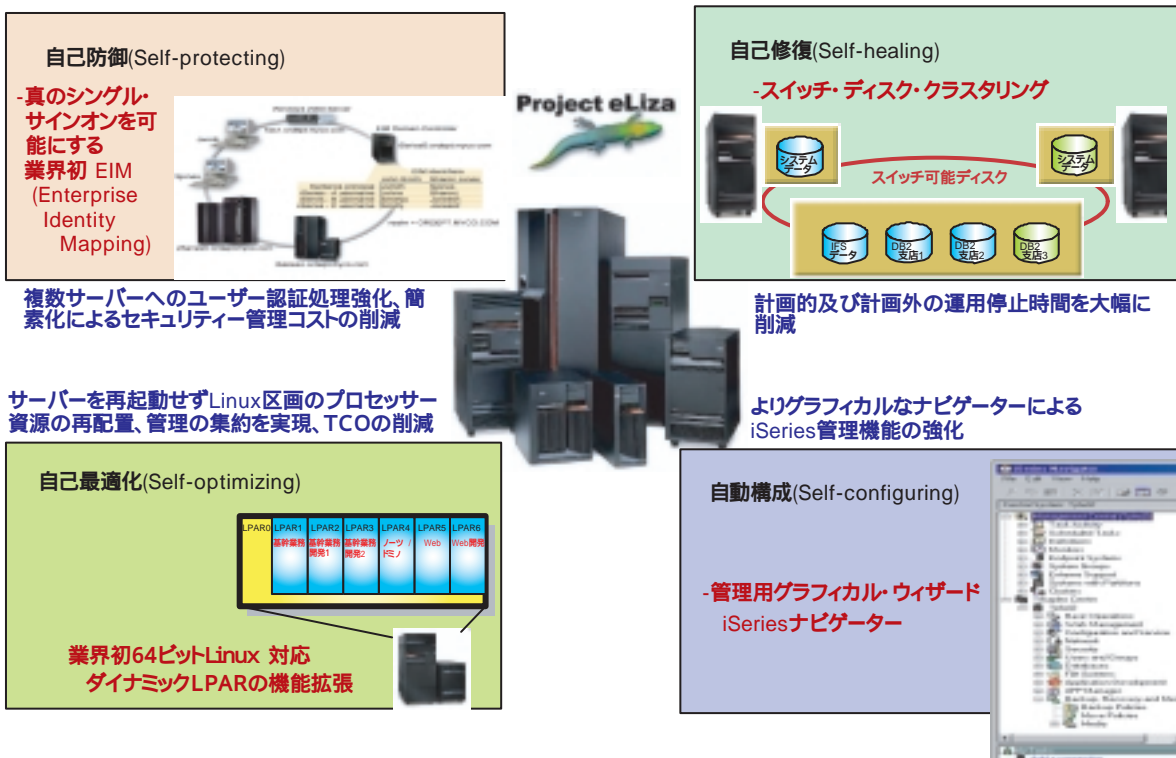
マイクロソフト社のクラスター・サーバーをサポートします。また、Windows、Linux、OS/400のソリューションが、最大16個の仮想イーサネット・サーキット上で接続可能となります。さらに、Windows .Net Serverのサポートも計画しています。²

²: 製品計画の公表 (プロダクト・プレビュー) 正式な製品化は、IBMの今後の技術上および経営上の判断により、最終決定されるものであることをご了承ください。

DB2 UDB for iSeriesの複数データベース・イメージ・サポート

DB2 UDB for iSeriesは、単一のOS/400上で、個別のネームスペースによる複数データベース・イメージをサポートします。これにより、同一のアプリケーションに対して複数データベースを対応させることも可能となり、iSeriesのサーバー統合がより容易になります。また、最新の業界標準SQLをサポートし、複雑かつ大容量のデータ検索にも対応できる、自己最適化された検索エンジンが提供されます。

Project eLizaの実現に向けて



業界初のEIM(Enterprise Identity Mapping)実装

OS/400 V5R2は、IBMがProject eLiza主導のもとに開発したテクノロジーであるEIM(Enterprise Identity Mapping)を初めて実装します。Project eLizaとは、複雑、多様化するコンピューティング環境において、人間が介在することなくシステムが自己管理、自己最適化を行うことを目指すものです。EIMは、複数サーバーが混在する環境において、セキュリティー管理コストを押えながらユーザー認証処理を簡素化します。EIMがユーザーの複数セキュリティーIDの関連付けおよび追跡を実行するので、ユーザーに何度もID/パスワードの入力を強制することなく、高度なセキュリティーを持つアプリケーションを簡単に構築できます。

スイッチ・ディスク・クラスタリングによる可用性の向上

2台のiSeries間でディスクの切り替えができるスイッチ可能ディスクが、これまでのIFSファイルに加えてデータベース・オブジェクトにも対応します。システムの計画的なアップグレードやメンテナンス時に、また、予期しないシステム停止が起こった場合に、ディスクをもう1台のiSeriesに切り替えて稼働できるので、運用停止時間の大幅な削減を図ることができます。大容量のデータを取り扱われるお客様は、よりコスト効率良くバックアップ体制を構築いただけます。

Linux用パーティションへの動的プロセッサ資源割り当て

LPAR環境において、システムを稼働させたまま、プロセッサ資源をLinuxが稼働するパーティションに再配置することが可能になります。iSeriesでは、資源を有効活用しながら最大31のLinuxサーバーを統合できます。

iSeries Navigatorの機能拡張

iSeriesナビゲーター(旧オペレーション・ナビゲーター)が機能拡張され、LPARの管理がより容易になります。LPARの複数区画を同時に管理する機能およびワークロード管理機能の追加により、システム管理がさらに容易になります。

その他の機能拡張

ワイヤレスWebアプリケーションのサポート

iSeries Toolbox for Java Micro EditionおよびJDBC Micro Editionにより、携帯電話やPDA用のワイヤレスWebアプリケーション作成が容易になります。

高パフォーマンスかつ高セキュリティーのWebサーバー機能

IBM HTTP Server(Powered by Apache)にインテリジェント・キャッシュが取り入れられ、静的 / 動的Webコンテンツを高パフォーマンスで配信できるようになります。また、暗号化アダプター機構でセキュア・ソケット・アクセラレーターをサポートし、これまでの最大5倍の数の高セキュリティー・セッションが処理できます。複数の暗号化アダプターを搭載することで、さらに多くの高セキュリティー・セッションを処理可能です。

: OS/400 V5R2は以下のiSeriesモデル上で稼働します

モデル150/170/250/270/6xx/Sxx/7xx/8xx

開発意向表明

AIXをiSeriesのLPAR区画上で稼働。

弊社は、iSeries製品ライン上で、LPAR(論理区画)におけるAIXのネイティブ・サポートを含む自己最適化および自動構成機能を提供し、プロジェクトeLizaの自己管理システムを率先して拡張していくことを計画しています。これにより、お客様は単一のiSeries上で、OS/400、Windows、Linux、そしてAIXを含む幅広い範囲のアプリケーション環境を利用できるようになります。

iSeries Linux用のDB2 UDBおよびWebSphere Application Server

弊社は、iSeries Linux用にDB2 UDBおよびWebSphere Application Serverを利用可能にすることを計画しています。

開発意向表明は、弊社の製品計画 / 意向に基づいています。製品化の最終決定は、あくまでも弊社の技術上、ビジネス上の判断に基づいて行われます。

製品の価格

製品の価格については、担当営業へお問い合わせください。

製品・サービスなどの詳細については弊社もしくはIBM特約店の営業担当員にご相談下さい。
当資料に記載されている内容は事前の予告無しに変更される場合があります。

IBM製品・サービスの詳細情報については、
IBMホームページ <http://www.ibm.com/jp/eserver/series/>
IBM Faxサービス 044-200-8600 をご利用ください。

お問い合わせは、IBMビジネス・パートナー、製品販売店、弊社担当営業員、
またはダイヤルIBMへ(☎ 0120-04-1992)へ。
受付時間:月-金 9:00-18:00(祝日、12/30-1/3を除く)

携帯電話等でおかけのお客様は下記の電話番号をご利用ください。
ダイヤルIBM 044-221-1522
この場合、通話料金はお客様のご負担となります。

IBM、DB2、DB2 UDB、@server、OS/400、WebSphere、iSeries、pSeries、AIX 5L、eLiza、DB2は、IBM Corp.の米国およびその他の国の登録商標または商標です。

Lotus Dominolは、Lotus Development Corporationの商標です。

Javalは、Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

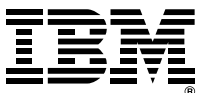
WindowsはMicrosoft Corp.(米国)の登録商標または商標です。

UNIXはThe Open Groupがライセンスしている米国およびその他の国における登録商標です。

その他の会社名、製品名はそれぞれの登録商標または商標です。

eメール配信をご希望の方へ：

「<http://www.ibm.com/jp/Products/news/pinews/>」より当ニュースのテキスト及びURL情報、PDFのいずれかを選択できます。



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12

G388-0858-00